令和３年１２月１３日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会構成員　様

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会　部会事務局
（栃木市地域振興部渡良瀬遊水地課
小山市総合政策部自然共生課）

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 第２９回合同部会　資料送付について

師走の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より当部会の運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和３年度の合同部会につきましては、延長しておりました第２９回合同部会資料を下記のとおり送付いたします。

今後の合同部会の開催については対面、もしくはオンラインで開催することができるよう事務局で検討してきます。

資料をご確認のうえ、ご意見やご質問等がございましたら合同部会事務局（小山市）までご連絡いただきますようお願いいたします。

記

○合同部会①②共通

資料１　「渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録１０周年」の周知について
資料２　渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録１０周年記念シンポジウム（案）について
資料３　「令和３年度渡良瀬遊水地ヨシ焼き前クリーン作戦」の実施について
資料４　ラムサール条約湿地登録10周年資料整理に関するアンケート(別紙あり)

問合せ先：○栃木市　地域振興部　渡良瀬遊水地課　田村、青木
〒323-1104　栃木県栃木市藤岡町藤岡1788
ＴＥＬ：０２８２－６２－０９１９
ＦＡＸ：０２８２－６２－０９２２
E-mail：yusuichi@city.tochigi.lg.jp

○小山市　総合政策部　自然共生課　丸山、舟田
〒323-8686　栃木県小山市中央町１－１－１
ＴＥＬ：０２８５－２２－９３５４
ＦＡＸ：０２８５－２２－９５４６
E-mail：d-shizen@city.oyama.tochigi.jp

資料１

令和３年１２月１３日

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会構成員　様

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
賢明な利活用及び地域振興検討合同部会事務局
（栃木市　地域振興部　渡良瀬遊水地課）

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
「渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録 10 周年」の周知について(依頼)

師走の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より部会の運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、皆様もご存じのとおり渡良瀬遊水地は令和４年７月３日をもって平成２４年７月のラムサール条約湿地登録から１０周年を迎えます。つきましては登録１０周年を広く PR をするため、令和４年４月から１２月までに実施されるイベントに、可能な限り登録１０周年記念事業の冠をつけていただくことになりました。
つきましては、下記のとおりご協力お願いいたします。

記

１．対象事業　　各団体で実施予定のイベント（令和４年４月から１２月まで）で登録記念日の冠をつけることが可能なもの
２．冠内容　　「渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録１０周年記念事業」
３．冠の付け方等　上記冠を原則とし可能な範囲でお願いします。
４．その他　　冠をつけて実施するイベントの周知については、アクリメーション振興財団が運営するイベント情報掲載システム（渡良瀬遊水地情報ネットワークシステム）をご活用下さい。

問い合わせ先：栃木市地域振興部　渡良瀬遊水地課
〒３２３－１１０４　栃木市藤岡町藤岡１７８８
電話 0282-62-0919　/　FAX0282-62-0922
E-mail：yusuichi@city.tochigi.lg.jp
担当：田村、青木

資料２

渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録
１０周年記念シンポジウム（案）

１．目　的

令和４（２０２２）年７月に、渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録されて１０周年を迎える。

これを記念し、渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録後１０年を振り返るとともに、ラムサール条約の理念である、私達の生活を支える重要な生態系としての湿地の「保全・再生」、湿地の生態系を維持しつつ、そこから得られる恵みを持続的に活用する「賢明な利用」、湿地保全や賢明な利用のために対話・能力構築・教育・参加・啓発活動を進める「ＣＥＰＡ」の促進により、渡良瀬遊水地の豊かな自然環境を守り、将来へつないでいく事を目的に、シンポジウムを開催する。

２．開催日時

令和４（２０２２）年７月３日（日）

・開　　場　　１２：００

・開催時間　　１３：００～１７：３０

３．会　場

小山市立文化センター 大ホール

（〒323-0023 小山市中央町１丁目１番１号 TEL：0285-22-9552）

４．テーマ

未定 ※将来ビジョン（渡良瀬遊水地宣言）と併せて部会の中で検討する

（裏面に続く）

５．タイムスケジュール

（１２：００　会　場）

（１）主催：渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

１３：００　開　会　主催者挨拶・来賓挨拶

わたらせシールラリー認定証・記念カード贈呈式
（当日は該当者全員招待するが、認定者多数の場合は、
代表１名に贈呈を受けていただく）

１３：２０　第１部　活動報告

～ラムサール条約湿地登録１０年後の歩み、そして未来へ～
発表者（NPO）わたらせ未来基金 理事長
青木　章彦　様

１３：５０　第２部　基調講演

テーマ「（仮）ラムサール条約湿地 奥日光の現状と未来」
※講師未定

１４：２０　休憩（１０分）

１４：３０　第３部　パネルディスカッション

テーマ：（仮）
ラムサール登録湿地におけるエコツーリズム

◆パネリスト
基調講演講師
利根川上流事務所長
古河市・栃木市・小山市・野木町・板倉町・加須市
の各首長

◆コーディネーター
（NPO）わたらせ未来基金 理事長 青木 章彦 様

１５：３０　「渡良瀬遊水地宣言」発表

◆発表者　渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 浅野 正富 会長

１５：４０　休憩（１０分）

（２）主催：小山市

共催：栃木市、古河市、加須市、野木町、板倉町、保全・利活用協議会

１５：５０　第１部　小学校の事例発表

候補：下生井小（小山市）、藤岡小（栃木市）
野田市、鴻巣市の小学校等

１６：２０　　記念講演　　柳生博様

１７：３０　閉　会

７．その他

・ロビー展示の実施

（国・各市町の取組み紹介や登録後１０年の歩み（２度の洪水、２年連続のコウノトリのヒナの誕生等）、ヨシ灯り、コウノトリはく製の展示などを想定。子どもたちが楽しめる展示内容やイベントについても検討する。）

◆その他関係事業について

・10 周年の冠をつけたイベントの実施

（各団体で実施予定の渡良瀬遊水地関連イベントに「ラムサール条約湿地登録10 周年記念」の冠を可能な限りつけていただく。）

・１０周年記念パンフレットの作成

（合同部会②「３－２遊水地のガイドブック等」において今後検討・作成）

R3.12.14　合同部会　資料３（小山市）

２．第２９回合同部会②について

第９回協議会にて承認をいただいた事業について、実施に向けた検討を進める

１．ゴミ対策（２－５）

●「令和３年度渡良瀬遊水地ヨシ焼き前クリーン作戦」の実施について

（１）実施日：令和４年３月２日（水）１４時～（１３時３０分受付開始）

（２）実施計画（案）:（資料３－１）のとおり

（３）実施箇所（案）:（資料３－２）のとおり

（４）構成員の割り振り:（資料３－３）のとおり

（３）今後の予定：

・第３０回合同部会の資料送付にあわせて開催通知（参加依頼）を送付予定

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、実施可否については２週間前の２月１６日の幹事会において判断予定。

資料３－１

令和３年度渡良瀬遊水地ヨシ焼き前クリーン作戦　実施計画（案）

１　目　的

ラムサール条約湿地である渡良瀬遊水地の貴重な自然環境や景観を保全するため、関係機関・団体やボランティアの協力のもと、渡良瀬遊水地の清掃活動を実施します。また、ヨシ焼き前に本活動を実施することにより、不法投棄された廃棄物を適正に処理することで環境の保全につなげます。

２　実施日時・スケジュール（荒天中止）

(1)　実施日　令和４年３月２日（水）１４時００分～（１３時３０分受付開始）
※第３１回合同部会①・②の時間を利用して実施

(2)　スケジュール

１３：３０～　受付【集合場所：栃木市藤岡遊水池会館　駐車場】
（栃木市藤岡町藤岡１７８８）

１４：００　あいさつ、作業説明（小山市）

１４：１０　渡良瀬遊水地内の各作業場所へ移動後、作業開始
※各作業場所では、幹事会（利根上・４市２町）担当者の指示に従い作業をお願いします。作業は１時間程度を予定しています。

１５：１０　作業終了（各作業場所にて解散）

３　実施場所

渡良瀬遊水地全域（数カ所に分かれて実施）

４　実施体制

主催：渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
事務局：合同部会②　小山市自然共生課
TEL：0285-22-9354、FAX：0285-22-9546

５　実施可否の判断について

(1)新型コロナウイルス感染拡大による実施可否の判断

新型コロナウイルス感染拡大の影響による実施の可否については、２週間前の２月１６日時点で国の緊急事態宣言の対象エリアに渡良瀬遊水地関係４市２町の自治体が含まれていないこと等を条件とし実施します。尚、中止を決定した場合には、文書により各構成団体へ通知します。

(2)荒天による実施可否の判断

荒天が見込まれる場合の実施可否については、実施日前日（３月１日（火））の１４時までに事務局において決定します。荒天により中止とした場合は、（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団ホームページ内の「渡良瀬遊水地イベント情報（３月）」及び小山市ホームページにて中止の旨を案内します。

６　ボランティア保険への加入について

主催者にて、NPO 法人森づくりフォーラムの「グリーンボランティア保険」（傷害保険・賠償責任保険、引受保険会社：東京海上日動火災保険（株））に加入します。

〇補償内容

【傷害部分】（本人の事故）

・死亡保険金　１，０００万円
・後遺障害保険金　後遺障害の程度に応じて４０万円～１，０００万円
・入院保険金　　日額５，０００円
・通院保険金　　日額３，０００円
・手術保険金　　入院保険金日額の１０倍（入院中の手術）または５倍（入院中以外の手術）

【賠償責任部分】

・対人・対物共通　１名１事故につき支払限度額５，０００万円
　免責金額（自己負担額）なし

〇保険料

【傷害部分】１人につき５２円

【賠償責任部分】１人につき３０円（１活動の最低保険料１，５００円）

※別途、登録手数料２，０００円（年度更新）の負担あり

７　その他

・事前申込は不要です。保険加入の関係から、受付名簿（参加票）に氏名・住所・電話番号・所属団体の記入をお願いします（事前に、参加票または任意の用紙に記入し、当日受付にご提出ください）。
・参加者は、汚れてもよい服装（肌を守るため長袖・長ズボン）と長靴、マスクを着用し、軍手をご持参ください（ビニール袋は主催者で用意）。
・事故やケガに十分注意して活動をお願いします。

８　新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染防止のため、以下の対策を講じて実施します。

・発熱、息苦しさ、強いだるさ、せき・のどの痛み等の症状がある方や、新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方は参加を見合わせる。

・受付にて参加者の手指消毒と検温を実施する。
・参加者はマスクを着用して参加する。
・打合せや待機の際、人との間隔はできるだけ２ｍ（最低１ｍ）を空ける。
・受付時の混雑防止のため、氏名・住所・電話番号・所属団体を記入した参加票（任意の用紙でも可）を事前に記入し、当日持参する。

資料３－２

「令和３年度渡良瀬遊水地ヨシ焼き前クリーン作戦」実施箇所（案）

昨年度実施予定箇所の４か所にて実施

●・・・集合場所　　点線内・・・作業エリア

※集合時の混雑や県をまたぐ移動を最低限に抑えるため、現地集合とし、団体（又は個人）の所在地（居住地）で活動場所を①～④に振分けする。

①谷中村史跡保全ゾーン（栃木市）【集合：体験活動センター前駐車場】
　対象：栃木市内の団体（又は個人）

②想い出橋周辺（板倉町）【集合：板倉町渡良瀬運動場駐車場】
　対象：板倉町・古河市・加須市内の団体（又は個人）

③与良川排水機場周辺（小山市）【集合：生井桜づつみ公園】
　対象：小山市市内の団体（又は個人）

④野渡橋周辺（野木町）【集合：野渡橋東側】
　対象：野木町内の団体（又は個人）

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会　構成員　振り分け一覧（案）

資料3－3

No.	分類	所属	住所	会場	
2	地方自治体	栃木市地域振興部渡良瀬遊水地課	栃木市	1	
7	渡良瀬遊水地利用者	一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団	栃木市	1	
11	渡良瀬遊水地隣接自治会代表	部屋地区自治会連合会	栃木市	1	
12	渡良瀬遊水地隣接自治会代表	藤岡地区自治会長会	栃木市	1	
13	渡良瀬遊水地隣接自治会代表	赤麻地区自治会連合会	栃木市	1	
23	渡良瀬遊水地の治水に関する関係団体	藤岡町巴波川周辺地区治水事業促進連絡協議会	栃木市	1	
26	渡良瀬遊水地を活動拠点としている団体	渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会	栃木市	1	
30	渡良瀬遊水地を利用している団体	渡良瀬遊水地スポーツ利用者等連絡協議会	栃木市	1	
31	渡良瀬遊水地を利用している団体	特定非営利活動法人　スカイダイブ藤岡	栃木市	1	
32	渡良瀬遊水地を利用している団体	ミカモライディングクラブ	栃木市	1	
33	渡良瀬遊水地を利用している団体	一般社団法人　栃木市熱気球クラブ	栃木市	1	
34	土地改良区	藤岡土地改良区	栃木市	1	
37	教育関係	栃木市教育委員会教育部教育総務課	栃木市	1	
42	渡良瀬遊水地を活動拠点としている団体	谷中村の遺跡を守る会	栃木市	1	
45	渡良瀬遊水地を活動拠点としている団体	渡良瀬遊水地ガイドクラブ	栃木市	1	15
5	地方自治体	板倉町企画財政課	板倉町	2	
16	渡良瀬遊水地隣接自治会代表	板倉町行政区長会	板倉町	2	
40	教育関係	板倉町教育委員会	板倉町	2	
1	地方自治体	古河市企画政策部企画課	古河市	2	
10	渡良瀬遊水地隣接自治会代表	古河市行政自治会	古河市	2	
28	渡良瀬遊水地を活動拠点としている団体	渡良瀬遊水地野鳥観察会	古河市	2	
36	教育関係	古河市教育部教育総務課	古河市	2	
6	地方自治体	加須市環境安全部環境政策課	加須市	2	
17	渡良瀬遊水地隣接自治会代表	加須市自治協力団体連合会北川辺支部	加須市	2	
41	教育関係	加須市教育委員会	加須市	2	10
3	地方自治体	小山市総合政策部自然共生課	小山市	3	
9	渡良瀬遊水地利用者	栃木県下都賀漁業協同組合	小山市	3	
14	渡良瀬遊水地隣接自治会代表	生井地区自治会連合会	小山市	3	
18	渡良瀬遊水地の治水に関する関係団体	渡良瀬遊水地第2調節池周辺地区治水事業促進連絡協議会	小山市	3	
19	渡良瀬遊水地の治水に関する関係団体	渡良瀬遊水地関連地域活性化協議会	小山市	3	
20	渡良瀬遊水地の治水に関する関係団体	思川右岸生井地区堤防強化対策協議会	小山市	3	
21	渡良瀬遊水地の治水に関する関係団体	巴波・永野川築堤、堤防改修工事対策協議会	小山市	3	
25	渡良瀬遊水地を活動拠点としている団体	ラムサール湿地ネットわたらせ	小山市	3	
27	渡良瀬遊水地を活動拠点としている団体	わたらせ未来基金	小山市	3	
35	土地改良区	思川西部土地改良区	小山市	3	
38	教育関係	小山市教育委員会教育総務課	小山市	3	
46	渡良瀬遊水地を活動拠点としている団体	小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会	小山市	3	12
4	地方自治体	野木町産業建設部産業課	野木町	4	
8	渡良瀬遊水地利用者	渡良瀬遊水地利用組合連合会	野木町	4	
15	渡良瀬遊水地隣接自治会代表	野木町野木区	野木町	4	
22	渡良瀬遊水地の治水に関する関係団体	野木町川西地区治水事業促進連絡会	野木町	4	
39	教育関係	野木町教育委員会	野木町	4	5
44		利根川上流河川事務所調査課	久喜市	－	
43		環境省関東地方環境事務所野生生物課	さいたま市	－	2

資料４

ラムサール条約湿地登録 10 周年資料整理に関するアンケート

１．アンケート目的

・渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録されてから 10 年を迎えようとしています。登録を機に発足した利活用協議会のこれまでの取り組みを整理し、広報資料を作成します。

＜各資料の主な内容＞
・年表（別紙１）は、渡良瀬遊水地のラムサール条約登録時に掲げられた 3 つの方針を大きな軸として、渡良瀬遊水地に係る各市町等の 10 年間の主な活動をまとめています。

⇒本アンケートでは、**資料内容の充実を図ること**を目的として、作成資料に対する各関係機関の意見をお聞かせください。

２．アンケート事項

問１：年表（別紙１）の中に示した「コウノトリ」・「外来種駆除」などの項目について、各市町・団体内で積極的に進めるテーマは入っていますか。記載が無い場合は以下に記述してください。

問２：年表（別紙１）の中に示した活動の期間や内容に誤りはありますか。誤り等がある場合は以下に記述してください。

⇒裏面にお進みください。

問３：年表（別紙１）の中に示した活動の項目に不足はありませんか。**項目の不足がある場合は整理表（別紙２）にご記入**ください。

※整理表の記入方法は、整理表（別紙２）の記入例や、参考資料にある栃木市・小山市等の項目をご参照ください。

問４－１：自治体の方へご質問です。

・年表（別紙１）に記載の項目について、他の自治体と連携して実施した活動に誤り等はありますか。誤り等がある場合は以下に記述してください。（他の自治体と連携した活動が特に無い場合は記入不要です。）

問４－２：団体の方へご質問です。

・年表（別紙１）に記載の項目について、自治体と連携して実施した活動に誤り等はありますか。誤り等がある場合は以下に記述してください。（自治体と連携した活動が特に無い場合は記入不要です。）

問５：来年度以降、開催予定のあるイベント、実施予定のある活動はありますか。もし、開催・実施予定のものがあれば、可能な範囲で以下に記述してください。

問６：その他今回の送付した資料についてご意見ありましたら、下記の回答欄にご意見をご記入下さい。
（ラムサール条約湿地登録 10 周年以外のことでも可）

アンケートは以上になります。ご協力いただきありがとうございました。

提出先　合同部会②事務局：小山市自然共生課　丸山、舟田　宛て
電話 0285-22-9354　FAX0285-22-9546
メールアドレス　d-shizen@city.oyama.tochigi.jp
〆切：12 月 22 日（水）

渡良瀬遊水地 ラムサール条約登録10周年 保全・利活用年表

7/3 渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録される

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会が発足

7/1 ラムサール条約湿地登録5周年記念シンポジウム開催

新型コロナウイルス流行により各種イベント中止

7/3 ラムサール条約湿地登録10周年

遊水地における出来事

1906 谷中村廃村

1912～22 遊水地の築堤・河川開削工事

1947 カスリーン台風

1963～98 遊水地の調整池化のための工事

2001 台風15号で渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約8100万m3

2002 台風6号で渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約7800万m3

2007 台風6号で渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約5400万m3

2011 台風15号で渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約4900万m3

関東・東北豪雨（台風17・18号）により思川・巴波川が氾濫危険水位に達する渡良瀬遊水地の洪水貯留量　約1億700万m3

台風21号により渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約5500万m3に達する

台風19号で遊水地の貯留量が過去最大を記録 洪水貯留量　約1億6000万m3

利根川上流河川事務所の活動

2000 「渡良瀬遊水地の自然を生かしたグランドデザイン提言【国】

2002 渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会設置【国】

2010 「渡良瀬遊水地保全・再生基本計画」策定、第二調整池の再生掘削開始【国】

第二調整池試験施工エリアの再生掘削完了【国】

掘削地：環境学習フィールド3の完成【国】

ノジトラノオ保全活動の開始【栃】

絶滅危惧種復活プロジェクトの開始【栃】

掘削地：大型鳥採餌休息環境実験地の完成【国】

掘削地：湿潤環境形成実験地、環境学習フィールド4、人為格段型実験地の完成【国】

環境学習フィールド4での外来植物除去活動開始【栃】

第1調整池及び第3調整池内に人工巣塔2基設置（予定）【栃】

2010 市民団体等が「渡良瀬遊水地をコウノトリの舞う湿地に」フォーラム開催

2010 「治水促進、ラムサール・コウノトリ期成同盟会」発足【小】

コウノトリ

コウノトリの飛来を確認

小山市大字下生井に人工巣塔を1基設置【小】コウノトリの飛来を確認

小山市大字下生井に人工巣塔を1基増設【小】コウノトリの飛来を確認

小山市大字乙女に人工巣塔を1基設置【小】コウノトリ（ひかる）の飛来を確認

小山市の渡良瀬遊水地内に人工巣塔を1基設置【小】コウノトリ（ひかる）が渡良瀬遊水地周辺に定住

東日本初となる野外繁殖によるコウノトリのヒナ「わたる」、「ゆう」が「ひかる」・「歌」ペアに誕生

コウノトリのヒナ誕生記念切手の発売【小】

コウノトリのヒナ「りょう」、「のぞみ」が「ひかる」、「レイ」ペアに誕生

外来種駆除

ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦開始【小】

おさかなワイワイ大作戦開始【小】

ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦への参加を決定【協】

鳥類の保全・環境整備等

1992年 ワシタカカウント（鳥類の個体数調査）開始

2011 「ふゆみずたんぼ」の取組み開始【小】

「なつみずたんぼ」の取組み開始【小】

ヨシ焼き

1955年頃～ ヨシズ製造業者がヨシ焼きを始める

2011～12年 東日本大震災により中止

ヨシ焼き再開

悪天候により中止

2006 渡良瀬遊水地周辺の市民団体等が「渡良瀬遊水地をラムサール条約登録地にする会」発足

2011 「渡良瀬遊水地治水促進・ラムサール登録・コウノトリ地域推進期成同盟会」発足【小】

保全・利活用協議会の活動

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の準備会開催【協】

第1回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会開催【協】

7/3をラムサール条約湿地の登録記念日に設定【協】

渡良瀬遊水地ロゴマークが決定【協】

渡良瀬遊水地の5周年シンポジウム開催【協】

自然観察会と周辺地域の周遊等を組み合わせた有償ツアーを実施【協】

わたらせ市民フォーラムが賢明な利用についての提言をまとめ、シンポジウムを実施

トータルデザインの検討・案内サイン看板の設置【国】

「わたらせ熱気球day」を開始【栃】

渡良瀬遊水地キャラクターアニメーションの制作（予定）【栃】

特産品開発

絵本「ハートランドのかくれんぼ」発行【栃】

JTBと観光振興と地域活性化に関する包括連携協定を締結【小】

渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録5周年記念カードの配布【協】

野鳥観察&撮影のマナーパンフレット制作【栃】

マナーパンフレット配布【協】

熱気球「ハートランド号」のお披露目【栃】

ラムサールホンモロコの実験養殖を開始【小】

ナマズ養殖支援を開始【小】

サイクリング

「ツール・ド・おやま」開始【小】

観光用自転車相互乗り入れの協定締結【古・野】

連携シェアサイクルを設置【小・野】

秋の谷中湖一周サイクリングを実施【栃】

イノシシ対策看板の設置、HPによる情報発信【協】

ヨシ焼き火入れ体験付きツアーの実施【協】

「わたらせシールラリー2020」の実施【協】

「体験活動センターわたらせ」のリニューアルオープン【協】

パンフレット「湿地の保全と賢明な利活用をめざして」の配布【協】

渡良瀬遊水地アクティビティガイドリーフレット制作【栃】

官民連携で「渡良瀬ブレンドコーヒードリップパック」を商品化【栃】

遊水地ファンクラブ「渡良瀬ナイツクラブ」発足【栃】

小山市・栃木市間で広域公営路線バス「渡良瀬ライン」が開通【小・栃】

第1回栃木市・小山市連携ヨシ灯り展実施【小・栃】

渡良瀬遊水地サイクリングロードマップ制作【栃】

遊水地ヘデマンドバス運行を開始【小】

「体験活動センターわたらせ」のオープン【協】

渡良瀬遊水地講演会開催【栃】

「渡良瀬遊水地探検ブック Ⅰ・Ⅱ」の配布【協】

渡良瀬遊水地ハートランド城が開館【栃】

渡良瀬遊水地フェスティバル開始【栃】

渡良瀬遊水地コウノトリ交流館が開館【小】

渡良瀬遊水地まつりin KAZO開始【加】

「渡良瀬遊水地情報ネットワークシステム」の運用開始【協】

2000 渡良瀬遊水地湿地資料館が開館

ふれあいバスが渡良瀬遊水地への乗り入れ開始【栃】

「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座」開始【栃】

天皇・皇后両陛下が遊水地を行幸される

渡良瀬遊水地ガイドクラブ設立【栃】

渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会設立【小】

①湿地の保全・再生

②賢明な利活用

③人々の参加、交流や情報交換、教育

凡　例

【協】：渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の取組み
【国】：国交省 利根川上流河川事務所の取組み
【小】：小山市の取組み
【栃】：栃木市の取組み
【加】：加須市の取組み
【古】：古河市の取組み
【野】：野木町の取組み
【板】：板倉町の取組み

M33 1900 | S25 1950 | H12 2000 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | H31・R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R4 2022

【別紙2】ラムサール条約湿地登録10周年の年表作成にむけた整理表

※渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録されて以降（2012年7月）の活動・出来事、活動主体、概要を記載してください。
※必要に応じて適宜行を追加してください。

年	月	活動・出来事	活動・出来事の概要、参考URLなど	活動の分類 （年表では、各関係機関の活動をラムサールの3つの柱（①保全・再生、②ワイズユース、③交流・学習）に従って分類・整理しています。年表に反映する際の参考としますので、記入した活動を①～③のいずれかに分類し、該当するものに〇をつけてください。）		
				①保全・再生 （遊水地に生息する動植物の保全・再生を目的とした活動）	②ワイズユース （遊水地の自然環境や広大なフィールド等を活かした観光、イベント、産業などの活動）	③交流・学習 （遊水地の環境・歴史や活動などを周知するためのPR活動や教育活動）
2013 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021	8	（記入例）第１回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会	第1回の渡良瀬遊水地保全・利活用協議会が開催され、設立趣旨や規約、今後の部会運営等について協議した。	〇	〇	〇

ラムサール条約湿地登録10周年の年表作成にむけた整理表（協議会）

※記載内容について誤り・不足等が無いか、ご確認ください。

年	月	活動・出来事 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会	活動の分類 ①保全再生	②ワイズユー	③交流・学習
2012					
2013	3月	準備会開催	○	○	
	8月	第１回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会	○	○	
2014					
2015	7月	マナーパンフレット配布		○	
	8月	臨時協議会開催 7/3をラムサール条約湿地の登録記念日に設定		○	
2016					
2017	3月	渡良瀬遊水地のロゴマーク決定		○	
	4月	「渡良瀬遊水地情報ネットワークシステム」の運用開始			○
		「渡良瀬遊水地探検ブックⅠ・Ⅱ」の配布			○
	7月	渡良瀬遊水地の5周年シンポジウム開催		○	
	7月	渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録5周年記念カードの配布		○	
2018					
2019		パンフレット「湿地の保全と賢明な利活用をめざして」の配布			○
	11月	自然観察会と周辺地域の周遊等を組み合わせた有償ツアーを実施		○	
2020	1月	「わたらせシールラリー2020」の実施			○
2021	6月	体験活動センターのリニューアルオープン	○		
2022					

ラムサール条約湿地登録10周年の年表作成にむけた整理表（栃木市・小山市・協議会・利根川上流河川事務所）

年	月	活動・出来事					活動の分類		
		栃木市	小山市	渡良瀬遊水地保全・利活用協議会	利根川上流河川事務所	遊水地における出来事	①保全再生	②ワイズユース	③交流・学習
2000	3月				「渡良瀬遊水地の自然を生かしたグランドデザイン提言		○		
2001	9月					台風15号で渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約8100万m3			
2002					渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会設置		○		
	7月					台風6号で渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約7800万m3			
2007	9月					台風6号で渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約5400万m3			
2010	3月				「渡良瀬遊水地保全・再生基本計画」策定		○		
	3月				第二調整池の湿地再生試験掘削開始		○		
2011	9月					台風15号で渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約4900万m3			
2012	4月	ふれあいバスが渡良瀬遊水地への乗り入れ開始						○	○
	7月					渡良瀬遊水地がラムサール条約登録湿地となる			
	9月	渡良瀬遊水地フェスティバル開始							○
2013	3月			準備会開催			○	○	
	4月	「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座」開始					○	○	○
	4月		ラムサールホンモロコの実験養殖を開始					○	
	8月			第1回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会			○	○	
	8月				第二調整池の湿地再生試験掘削完了		○		
2014	1月	渡良瀬遊水地講演会開催					○		○
	3月	熱気球「ハートランド号」のお披露目						○	
	6月		ヤナギ・セイタカアワダチソウ除去作戦開始				○		
	9月				掘削地：環境学習フィールド3の完成		○		
	11月		「ツール・ド・おやま」開始					○	
2015	3月	「渡良瀬遊水地ハートランドプラン」策定					○	○	○
	3月	渡良瀬遊水地ガイドクラブ設立							○
	3月	絵本「ハートランドのかくれんぼ」発行						○	
	5月	ノジトラノオ保全活動の開始					○		
	7月		「なつみずたんぼ」の取組み開始				○		
	7月		小山市大字下生井に人工巣塔を1基設置				○		
	7月			マナーパンフレット配布				○	
	8月			臨時協議会開催 7/3をラムサール条約湿地の登録記念日に設定				○	
	9月					関東・東北豪雨（台風17・18号）により思川・巴波川が氾濫危険水位に達する渡良瀬遊水地の洪水貯留量約1億700万m3			
	11月		小山市大字下生井に人工巣塔を1基増設				○		
2016	3月		小山市大字下生井に人工巣塔を1基増設				○		
	4月	遊水地ファンクラブ「渡良瀬ナイツクラブ」発足							○
	4月	絶滅危惧種復活プロジェクトの開始					○		
	7月		ナマズ養殖支援を開始					○	
	10月		遊水地へデマンドバス運行を開始						○
2017	3月	野鳥観察&撮影のマナーパンフレット制作						○	○
	3月			渡良瀬遊水地のロゴマーク決定				○	
	3月				掘削地：大型鳥採餌休息環境実験地の完成		○		
	4月		小山市・野木町で連携シェアサイクルを設置					○	
	4月			「渡良瀬遊水地情報ネットワークシステム」の運用開始					○
				「渡良瀬遊水地探検ブックⅠ・Ⅱ」の配布					○
	6月		おさかなワイワイ大作戦開始				○		
	7月		小山市大字乙女に人工巣塔を1基設置				○		
	7月			渡良瀬遊水地の5周年シンポジウム開催				○	
	7月			渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録5周年記念カードの配布				○	
	10月					台風21号により渡良瀬遊水地の洪水貯留量が約5500万m3に達する			
	12月		渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会設立						○
2018	2月		小山市の渡良瀬遊水地内に人工巣塔を1基設置				○		
	2月		コウノトリ　ひかるが渡良瀬遊水地周辺に定住				○		
	3月				掘削地：湿潤環境形成実験地の完成		○		
	3月				掘削地：環境学習フィールド4の完成		○		
	3月				掘削地：人為格段型実験地の完成		○		
	4月	渡良瀬遊水地ハートランド城のオープン							○
2019	3月	小山市・栃木市間で広域公営路線バス「渡良瀬ライン」が開通	小山市・栃木市間で広域公営路線バス「渡良瀬ライン」が開通					○	○
				パンフレット「湿地の保全と賢明な利活用をめざして」の配布					○
	5月	環境学習フィールド4での外来植物除去活動開始					○		
						台風19号で遊水地の貯留量が過去最大を記録 洪水貯留量　約1億6000万m3			
	11月			自然観察会と周辺地域の周遊等を組み合わせた有償ツアーを実施				○	
2020	1月			「わたらせシールラリー2020」の実施					○
	4月	渡良瀬遊水地アクティビティガイドリーフレット制作							○
	5月		渡良瀬遊水地コウノトリ交流館が開館						○
	5月		東日本初となる野外繁殖によるコウノトリのヒナ「わたる」、「ゆう」が「ひかる」・「歌」ペアに誕生				○		
	8月	第1回栃木市・小山市連携ヨシ灯り展実施							○
	10月	秋の谷中湖一周サイクリングを実施						○	
	12月		コウノトリのヒナ誕生記念切手の発売				○		
2021	3月		コウノトリのヒナ「りょう」、「のぞみ」が「ひかる」、「レイ」ペアに誕生				○		
	4月	「わたらせ熱気球day」を開始						○	
	4月	渡良瀬遊水地サイクリングロードマップ制作							○
	6月			体験活動センターのリニューアルオープン			○		
	10月	官民連携で「渡良瀬ブレンドコーヒードリップパック」を商品化							○
2022	3月	渡良瀬遊水地キャラクターアニメーションの制作（予定）						○	
	●月	第1調整池及び第3調整池内に人工巣塔2基設置（予定）					○		